

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力のお願

昭和大学歯科病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

漂白処置による歯質のアパタイト結晶構造と力学的特性の変化

1. 研究の対象および研究対象期間

2021年3月以前に当院で抜歯処置を受けられ、抜去した歯を提供された患者さん

2. 研究目的・方法

35% 過酸化水素と光照射を用いるオフィスホワイトニング法（以下「漂白処置」と言います。）は、歯を削らずに歯の色調を白くできるという特徴があり、変色した歯や、審美的に白い歯を求められる患者さんに用いられています。

予防歯科の観点では、漂白処置を行った歯質には再石灰化が起こっているという報告もあります。しかしながら、これらの報告はエックス線を用いて定量されたものであり、物理試験においても同様の効果が得られるかどうかは未だ明らかではありません。

漂白処置は歯質が弱く虫歯になりやすいという一般認識があるため、物理試験だけでなく歯の成分として含まれるアパタイト結晶構造を調べることは、臨床上重要な課題です。現在、歯質表面の非常に微細なレベルの性状の変化は解明されない点が多くあります。

本研究は、2021年3月以前に昭和大学歯科病院で、治療上抜歯の必要性があると診断され、かつ患者さんの同意を得て提供、保管されている永久歯を使用します。本研究で漂白処置による歯質の結晶構造の変化を比較・解析することにより、永久歯の歯質を結晶構造レベルで評価します。

本研究は、文部科学省科学研究費を用いて実施します。

研究期間

昭和大学歯学研究科 人を対象とする研究等に関する倫理委員会承認後、歯学研究科長の研究実施許可を得てから 2025 年 3 月 31 日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：抜去歯（すでに抜去されて保存されているものを使用します）

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学（歯学部歯科保存学講座歯科理工学部門） 氏名：荻野 玲奈

住所：142-8555 東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8178

研究責任者：

所属：昭和大学（歯学部歯科保存学講座歯科理工学部門） 研究責任者：荻野 玲奈